

令和4年度 健康部の運営方針

部	健康部	部長	田中 徹
---	-----	----	------

【基本方針】

「地域のつながりの中で、いつまでも健康で安心して暮らしている」の実現を政策目標とします。目標を達成するため、誰もが、身近な地域で、生涯を通じて健康に不安なく、自立して暮らすことができるまちを目指し、高齢者福祉の増進と健康寿命の延伸、健康づくり等の課題に対し、部内のみならず他部署とも連携を強化し総合的に取り組みます。

【重点目標】

1	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	健康づくり	令和4年度 達成状況
1	新型コロナウイルスワクチン接種の迅速かつ円滑な実施体制の確保及び推進					A
2	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	健康づくり	令和4年度 達成状況
2	市民の健康意識の向上と主体的な健康づくりの推進					B
3	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	高齢者福祉	令和4年度 達成状況
3	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進					A
4	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	高齢者福祉	令和4年度 達成状況
4	高齢者が自主的に身体機能向上を行うための基盤の整備					A
5	目標	(1)	安全で安心して健やかに暮らせるまち	分野	健康づくり	令和4年度 達成状況
5	国民健康保険事業の健全な運営の推進					A

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 1	新型コロナウイルスワクチン接種の迅速かつ円滑な実施体制の確保及び推進
--------	------------------------------------

今年度の達成目標
新型コロナウイルスワクチン接種において、希望する市民が円滑に接種できる体制を整え、接種を完了します。



達成状況	達成度
新型コロナウイルスワクチン接種の推進においては、適切な情報提供とワクチン配送に加え、接種券の送付にも配慮することで、円滑な接種の体制づくりに寄与することができました。	A 達成

今年度の達成目標
小児用新型コロナウイルスワクチン接種において、希望する保護者が安心して接種できるよう情報提供を行い、接種体制を整えます。



達成状況	達成度
小児・乳幼児ワクチン接種においても、適切な情報提供やワクチン配送、接種券の送付を行い、円滑な接種の体制づくりに寄与することができました。	A 達成



具体的取組
個別接種において円滑に接種が進むよう、適切な情報提供をおこない、各医療機関に合わせたワクチンの配送をおこないます。



具体的な取組実績
令和4年度は5月下旬に第2期追加接種(4回目接種)、9月下旬に令和4年秋開始接種(5回目接種)が始まりましたが、それぞれの接種開始にあたり適切な情報提供を行うとともに、各個別接種医療機関に適宜適切にワクチン配送を行い、円滑なワクチン接種の推進に取り組みました。

所管室・課	健康づくり課
具体的取組	
小児ワクチン接種において、市ウェブサイト等を活用し、ワクチンに関する適切な情報提供をおこない、円滑に進められるよう接種希望者に合わせた実施医療機関を調整します。	
所管室・課	健康づくり課



具体的な取組実績
小児ワクチン接種(5歳～11歳)の追加接種が9月上旬から始まるとともに、乳幼児ワクチン接種(生後6カ月～4歳)の初回接種が10月下旬から始まりましたが、それぞれの接種開始にあたり適切な情報提供を行うとともに、円滑な接種に資するため実施医療機関との調整を行いました。

総合評価・総括
新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な実施に向けた体制づくりについては、当初の予定どおり達成できたと考えていますが、小児接種および乳幼児接種では、12歳以上のワクチン接種(初回接種率87.7%)と比較すると開始時期に違いはあるものの、小児接種(10.2%)、乳幼児接種(2.9%、いずれも令和4年度末現在)ともに想定よりも接種が進みませんでした。全国的な傾向と同様ではありますが、想定より低い接種率で推移していますので、今後の情報提供のあり方などを検討する必要があると考えています。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
令和5年5月8日には新型コロナウイルス感染症が感染症法上の2類相当から5類に変更され、新型コロナウイルスワクチン接種についても高齢者等の重症化リスクの高い方を除き、予防接種法上の接種の努力義務が適用除外(初回接種を除く)となることから、今後の接種の推進についてはより質の高い情報提供が必要になってくるものと考えています。

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 2	市民の健康意識の向上と主体的な健康づくりの推進
--------	-------------------------

今年度の達成目標
市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康づくりプロジェクトチームにおいて健康づくり事業の啓発や取組を充実させます。
今年度の達成目標
がん検診の受診体制を整え、受診率の向上を図ります。

達成状況	達成度
健康づくり啓発冊子の作成と啓発のための健康教室の開催に加え、イベントでの健康啓発や健康づくり動画の作成など、当初の目標以上の取組を実施することができました。	A 達成
達成状況	達成度
令和4年度受診率の公表が今夏以降のため、昨年度との受診者数で比較すると、胃がん検診953名(67名減)、大腸がん検診2,552名(47名増)、肺がん検診1,297名(6名増)、乳がん検診1,888名(170名減)、子宮頸がん検診2,131名(259名減)であり、2検診では増加したものの、3検診で減少しました。	C 一部達成

具体的取組	
健康づくりプロジェクトチームにおいて産学官協働で健康づくりに関する啓発冊子を作成し、健康に関する情報発信をおこないます。	
所管室・課	健康づくり課
具体的取組	
がん検診においてウェブ予約を開始します。また、全国健康保険協会の特定健診との同時検診をおこないます。	
所管室・課	健康づくり課

具体的な取組実績
健康づくりプロジェクトチームにおいて産学官協働で健康づくり啓発冊子「柏原けんこうおたすけ手帳」を作成し、冊子啓発のためのウォーキング講座を関西福祉科学大学および大阪教育大学協力のもと3回開催しました。また、市役所前大和川河川敷公園で開催された各種イベントに健康づくりブースを出展し、来場者への健康啓発を行いました。さらに、自宅で簡単にできる健康づくり動画を作成し、市民の健康啓発に取り組みました。
具体的な取組実績
がん検診受診率向上の取組として、これまで国民健康保険の特定健診との同時実施や日曜日の実施、保育付きの実施など受診環境の改善に努めており、令和4年度は受診予約にウェブ予約を導入し、予約環境を改善することに加え、全国健康保険協会(協会けんぽ)の特定健診との同時実施にも取り組みました。

総合評価・総括
健康づくりプロジェクトチームでの取組を中心に、新たな事業を実施することで、様々な市民の健康づくりにアプローチすることができました。これまでの平日の日中に実施する事業だけではなく、ナイトヨガの開催や土日の河川敷でのイベントに出展したことは、新たな層へのアプローチとして有効であることが確認でき、さらに事業への参加募集をこれまでとは違う方法で行うことで特定の層へのアプローチが可能であることも確認できたので、今後の事業に活かしていきたいと考えています。 また、がん検診の受診率向上に向けては、コロナ禍で減少した受診者数を増やせるよう、これまでの取組に加え、新たな取組も実施していく必要があると考えています。

全体の達成度
B
概ね達成

今後検討すべきこと
多くの市民がコロナ禍を経験したことで健康への関心がこれまで以上に高まっていることから、この時期を逃すことなく、これまで健康づくりに関心の薄かった層へもアプローチできるよう、健康づくりプロジェクトチームでの取組を中心に引き続き新たな事業を実施していきます。 また、新たに国で策定された第4期がん対策推進基本計画に基づく事業にも積極的に取り組みます。

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 3	高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせる環境づくりの推進
--------	----------------------------------

今年度の達成目標
高齢者のデジタルデバインド解消を図ります。



達成状況	達成度
高齢者向けスマートフォン教室にのべ628名の参加があり、教室開催を通じて、9割以上の参加者より満足の声をいただき、デジタルデバインド解消に向け前進しました。	A 達成

今年度の達成目標
高齢者のフレイル(虚弱状態)の確認及び支援を行います。



達成状況	達成度
フレイルチェックを行った結果、3,226名より回答があり、そのうち、フレイルの可能性のある518名へ地域包括支援センター等が訪問や電話にて当該高齢者へ直接確認を行い、相談対応・支援を行いました。	A 達成



具体的取組
老人クラブや地域サロン等に対し、高齢者向けスマートフォン教室を実施します。



具体的な取組実績
地域包括支援センターと連携し、老人クラブや地域サロン等へ高齢者向けスマートフォン教室の案内を実施し、その結果、スマートフォン教室を50回開催できました。

所管室・課	高齢介護課
具体的取組	
70歳以上のフレイルチェック未実施の前期高齢者に対し、フレイルチェックを実施します。さらに、フレイルの内容に応じて、フレイルから脱却するための個別支援を行います。	
所管室・課	高齢介護課



具体的な取組実績
70歳以上のフレイルチェック未実施の前期高齢者4,112人へ、生活状況や身体状況等に関する32の質問が記載されたフレイルチェックを送付しました。

総合評価・総括
教室に参加された方は、スマートフォンを活用することで新型コロナウイルス感染症の流行下であっても、感染リスクのないオンライン環境で、家族・知人と関わりを持つことが可能となりました。 70歳以上のフレイルチェック未実施の前期高齢者への実施により、多くの高齢者の健康状態を確認できたことで、コロナ禍において閉じこもり等による身体機能が低下している方への適切な介護予防事業の普及啓発や、地域包括支援センターによる総合的な支援、相談を実施することができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
いつまでも住み慣れた環境で元気に生活ができる高齢者が増えるよう、今後もスマートフォン教室やフレイルチェックのように、介護予防や認知症予防に繋がる事業を実施していきます。

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 4	高齢者が自主的に身体機能向上を行うための基盤の整備
--------	---------------------------

今年度の達成目標
短期集中予防サービスの利用者数の増加を図ります。



達成状況	達成度
短期集中予防サービスの利用者は、前年度13名に対し、今年度は27名と増加しました。	A 達成

今年度の達成目標
柏原市内の介護関係者に対し、地域支援事業を中心に、高齢者の自立した日常生活の支援と、要介護状態となることへの予防・悪化防止の考え方の周知・普及を図ります。



達成状況	達成度
要支援認定者のケアプランを作成している柏原市内の全ての居宅介護支援事業所の出席があり、自立支援型地域ケア会議を通じて介護予防事業を含めた地域支援事業の周知や要介護状態となることへの予防・悪化防止の考え方の周知を図ることができました。	A 達成



具体的取組
フレイルチェックリストの活用やケアマネージャーによる対象者の掘り起こしを行います。



具体的な取組実績
フレイルチェックを実施し、回答をいただいた方へ相談窓口(地域包括支援センター)の案内を行い、ケアマネージャーや柏原市民に対し、介護予防に関する講演会や広報を通じて、短期集中予防サービスの周知・普及を図りました。

所管室・課	高齢介護課
具体的取組	
柏原市内の居宅介護支援事業所に対し、自立支援型地域ケア会議等を通じて、地域支援事業を中心に、高齢者の自立した日常生活の支援と、要介護状態となることへの予防・悪化防止の考え方の周知を行います。	
所管室・課	高齢介護課



具体的な取組実績
柏原市内の居宅介護支援事業所のケアマネージャーの事例について、運動・栄養・口腔・医療・社会資源に関する専門職より多角的な助言を行う自立支援型地域ケア会議を毎月開催しました。

総合評価・総括
短期集中予防サービスを通じて、利用者の生活課題の解決や身体機能の向上を図り、利用者の自立した生活が可能となりました。そして、短期集中予防サービスの訪問C型に加え、通所C型を令和4年12月より開始し、利用者の多様なニーズにより柔軟に対応できる体制が構築されました。自立支援型地域ケア会議は、居宅介護支援事業所のケアマネージャーのケアマネジメント力の強化を図る場にもなりました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
より多くの高齢者が短期集中予防サービスを利用できるよう、実施内容の充実や周知啓発に努めます。自立支援型地域ケア会議については今後も継続し、柏原市内の居宅介護支援事業所のケアマネージャーに対し、介護予防事業を始めとした地域支援事業の周知とケアマネジメント力の強化を図ります。

部(局)名	健康部
-------	-----

重点目標 5	国民健康保険事業の健全な運営の推進
--------	-------------------

今年度の達成目標
被保険者の生活習慣病の発症や重症化を予防するため、特定健診の受診率向上を図ります。



達成状況	達成度
特定健診の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、昨年度を上回りました。	A 達成

今年度の達成目標
国民健康保険財政の健全な運営を推進するため、保険料の収納率向上を図ります。



達成状況	達成度
保険料の収納率は、前年度を上回りました。	A 達成



具体的取組
未受診者対策を実施するなど、特定健診と人間ドックの受診を勧奨します。



具体的な取組実績
特定健診及び人間ドックの受診について、広報誌やウェブサイト等にて周知啓発を図りました。また、例年、特定健診未受診者に特定健診や人間ドックの受診を勧奨するハガキを年1回送付していますが、令和4年度は7月に5,527通、9月に7,037通と年2回送付しました。更に、電話・訪問での受診勧奨も実施しました。

所管室・課	保険年金課
具体的取組	
納付相談の機会の充実や滞納処分の着実な実施に努めます。	
所管室・課	保険年金課



具体的な取組実績
催告書の送付や納付忘れを防ぐためのコールセンターによる納付勧奨を行いました。また、預金などの差押えを126件実施しました。

総合評価・総括
特定健診の受診率が向上したことで、より多くの被保険者の生活習慣病の発症や重症化の予防に資することができました。また、保険料の収納率が向上したことで、国保財政の健全化と保険料を納期限内に納付されている方との公平性の確保を図ることができました。

全体の達成度
A 達成

今後検討すべきこと
特定健診の受診行動を起こすためには、医師や看護師からの受診勧奨が最も効果的であるといわれています。今後は、柏原市医師会と連携し、医療機関からの受診勧奨を強化する取組を検討していきます。また、催告書等の送付回数を増やすなど、早期に納付相談が行えるよう検討していきます。